

TSUDA

UNIVERSITY



Center for
Off-Campus
Learning and
Career
Support



2025年度
インターンシップ
ボランティア募集
新卒向け求人・採用
のお願い



津田塾大学
学外学修・キャリアセンター

変革を担う、女性であること

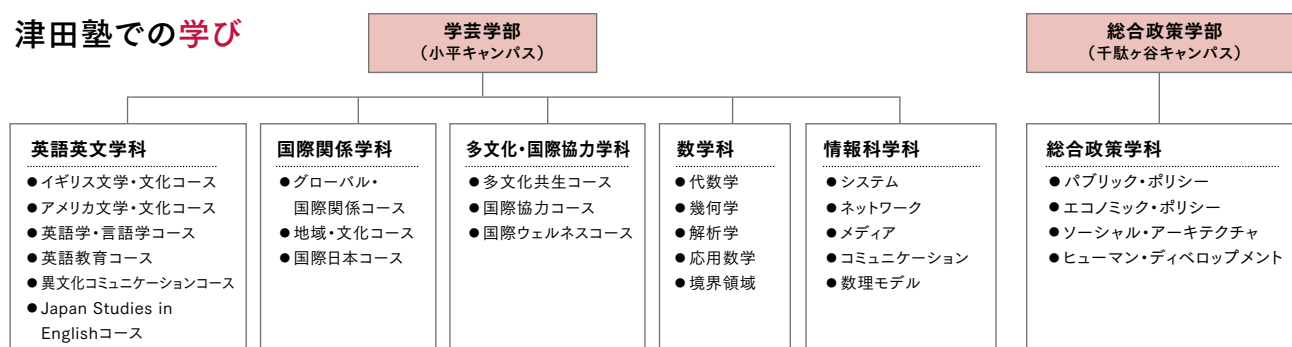
学び と強み

高い専門性と
豊かな教養を身につけ、
主体的に行動して
変革を担う女性を
社会に送りだします

境界をこえた学びを通じて
主体的に行動する学生がいます。

津田梅子は、日本最初的女子留学生の一人としてわずか6歳で日本とアメリカの境界を越え、わが国初の女子高等教育機関の一つである「女子英学塾」（本学の前身）を創立しました。その後120年以上にわたって本学は「男性と協同して対等に力を発揮できる女性の育成」に専念してきました。2017年度には総合政策学部を開設し、同年に学年暦を4ターム制に改定してキャンパスをこえて学ぶことを推奨するなど、本学は時代に合わせて変革を続けています。津田梅子が示した境界をこえた学びの姿勢は、現代にも受け継がれています。

津田塾での学び



津田塾の強み

- リベラル・アーツ教育に基づき、幅広い知識を身につけるカリキュラムがあります。
- 特色ある英語教育を提供し、グローバル志向を持った学生が多く在籍しています。
- 学生時代に様々な挑戦をして、主体的に行動できる環境があります。



MDASH
Literacy

データサイエンス・ リテラシープログラム

数理・データサイエンス・AIを適切に理解し
活用する基礎的な能力を育成

対象：学芸学部、総合政策学部



MDASH
Advanced Literacy

総合政策学部データサイエンス 応用基礎レベルプログラム

数理・データサイエンス・AIを活用し、
課題を解決するための実践的な能力を育成

対象：総合政策学部

津田塾のデータサイエンス・リテラシープログラムは、文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」に、総合政策部データサイエンス応用基礎レベルプログラムは、「数理・データサイエンス・AI」教育プログラム(応用基礎レベル)」に認定されています。所定の科目の単位を修得した学生には、履修証明書が授与されます。

＼ 在学生に聞いた /

Q 女子大生のメリットは？

- 1位 周りを気にせず、勉強ややりたいことに打ち込める
- 2位 着飾らないでよい
- 3位 大学のサポートが手厚い

津田塾のここがすごい！
ここが好き！

とにかくみんな真面目！

周りの人からいい刺激を受けられる

学外学修・キャリアセンターについて

2016年度に創設された学外学修センターは、2017年度の学年暦改定・4ターム制導入（※P4参照）以降、津田塾生たちの学外での挑戦を支援し、学内の学びを学外での経験に繋げ、自律的に行動できる学生を育成してきました。2024年度までに1200人を超える学生が制度を利用して、国内外でインターンシップ、ボランティア、サマープログラムに参加しています。この学外学修を支

援する制度は、他の大学にはない津田塾大学の特徴です。キャリア・センターは、それまで学生生活課で担ってきた就職支援をワンストップで行う組織として2017年に創設されました。本学は、長年にわたって高い就業意識を持って総合職等に就く学生を輩出していますが、その実績は教職員が一体となったきめ細やかなサポートと卒業生たちの温かい支援によって支えられています。

在学中の挑戦と自分らしいキャリアを描くサポート

2024年度より学外学修センターとキャリア・センターが統合され、学生の在学中の挑戦と卒業後のキャリアを4年間を通して支援する「学外学修・キャリアセンター」として発足

しました。これにより、学生が初年次から様々な活動を通じて学ぶ学外学修と、それらの経験を活かして自分に適した進路を選択していくための歩みをシームレスに支援します。

1、2年生

キャンパスを
こえた挑戦

3、4年生

自立した女性に
向けた進路選択



学外学修とキャリア支援の繋がり

1年生

2年生

3年生

4年生

- キャリア教育科目
- OG懇談会

- キャリアデザインワークショップ
- OG訪問

- 進路ガイダンス
- 企業インターンシップ
- キャリア個別相談

学外学修

国内外で多様な経験を積むことを奨励
(ボランティア、サマープログラム
語学研修、キャリア実習、PBL等)

学びと
経験の
循環

企業との連携講座や実践型インターンシップ参加で進路について考える機会を提供

学生時代の
挑戦を
進路
選択に
繋げる

キャリア支援

学外学修の機会を共創しませんか？

学外学修 受け入れのかたち

インターン生 (キャリア実習生) として

就労体験の機会を
提供いただける場合

一定期間学生を職場で受け入れていただける組織に学生を派遣いたします。1～2年生からでも参加できるプログラムを希望します。

■ 計5日間から～約10週間程度
※受け入れ人数・時期・期間についてはご相談ください

ボランティア として

自治体、非営利組織などで
地域貢献、社会奉仕の活動に
参加させていただける場合

学生たちが、社会奉仕活動を通じて地域社会などで自らができることを学び、市民性を養います。

■ 計5日間から～約10週間程度
※受け入れ人数・時期・期間についてはご相談ください

グループ単位で PBL(課題解決型学修) 実習生として

長期の職場受け入れは困難でも、
日数を限定した短期実習であれば
実施いただける場合

PBL(プロジェクトベースドラーニング)の手法を用い、グループ実習形式で受け入れていただき、学生たちが企業・団体様から提供いただく課題に取り組みます。

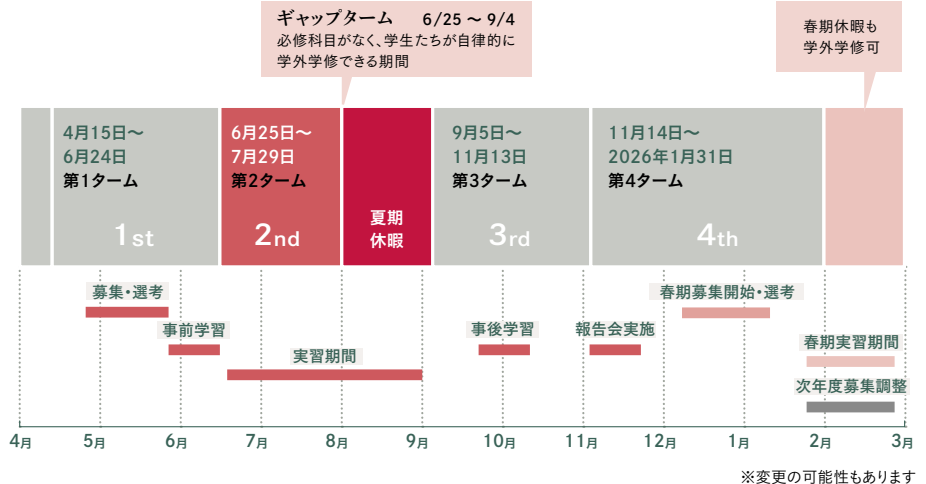
■ 約1～2か月間に3～4回の研修
※受け入れ人数・時期・期間についてはご相談ください

津田塾生たちは、早く、長く、そして集中して取り組むことができます。

■ ギャップタームの導入

津田塾大学では、2017年度から学年暦が全学的に改定され、右図のような4ターム制に変更されました。必修科目がない第2タームと夏期休暇期間を「ギャップターム」と称し、全学生がインターンシップ等の学外学修に自律的かつ柔軟に参加することが可能となっています。多くの大学生が活動を始めるより早く、6月下旬から9月上旬まで、最長で10週間にわたって集中的に学外で活動できます。

2025年度学年暦 インターンシップ等の受け入れプロセス例



私たちが大切にしていること

学外学修を通じて伸ばす4つの力(12の基礎力)

評価指標

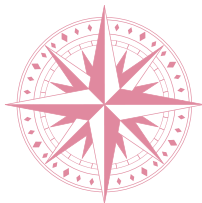
学外での学びで学生に伸ばしてもらいたい4つの力を「学外学修コンパス」として指標化し、学生の目標設定、自己評価の「羅針盤」として活用しています。

共感する力

- 人に興味を持つ／相手の話に関心し受けとめる
- 多様な価値観を受け入れる
- 互いに力を貸して助け合う

行動する力

- 目標の実現にむけた効果的な行動計画、シナリオを描く
- 自分の意志や判断において自ら進んで行動する
- 失敗を恐れずに、意欲を持続する



学外学修
コンパス

実社会の課題を分析する力

- 必要に応じて、適切な方法を選択して情報を収集し、課題発見ができる
- 事実に基づいて客観的に情報をとらえ、本質的な問題を見極める
- ゴールイメージを明確にし、目標を立てる

伝える力

- 一緒に物事を進める人達と情報を共有する
- どんな相手に対しても、相手に合わせて自分の考えを述べる事ができる
- 議論の活発化や発展のために自ら集団に働きかける

インターンシップ・ボランティアの事例

■ 2017～2024 年度インターンシップ受け入れ企業様・団体様(順不同)

パナソニックグループ、日本航空、三井住友銀行、マニユライフ生命、資生堂、アクサ生命、藤田観光、大正製薬、富士ゼロックス、SMB C日興証券、日本レーザー、レスパスフィルム、グレーアンドネイビー、キーワードマーケティング、エードット、インタア・ホールディングス、ストライプインターナショナル、ビッグイシュー日本、ファーストリテイリング、プロビティ・グローバルサーチ、日本ファンドレイジング協会、21世紀職業財団、(公)ユニジャパンTIFFCOM事務局、在日マケドニア大使館、野村證券、AFRIKA ROSE、国際協力推進協会(APIC)、エイチ・アイ・エス、富士通クラウドテクノロジーズ、三菱電機、JTP、ルバート、SEAFDEC、DMG森精機、プレティア・テクノロジーズ、Shin Edupower、アルバルク東京、富士通、佐原アカデミア、楽天グループ、国際労働財団(JILAF)、国際協力機構(JICA)、米国NPO法人JCW、Tech Japan、ETIC. 地域ベンチャー留学

■ 2017～2024 年度ボランティア受け入れ・紹介団体様

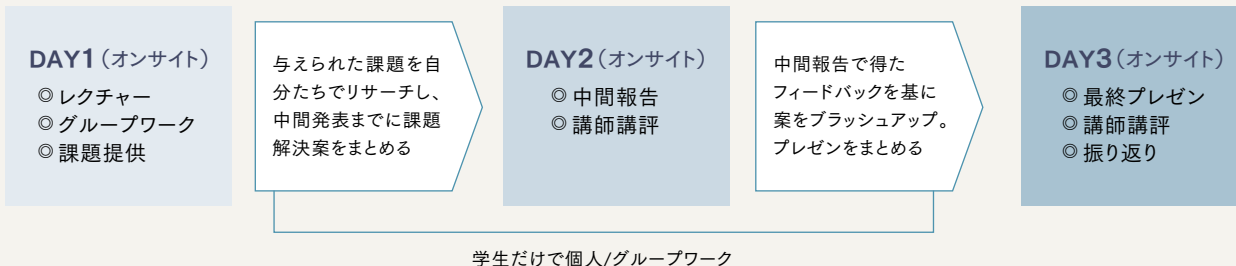
小平市の小中学校、こだいらオクトーバーフェスト、ビヨンドトゥモロー、CIEE(海外ボランティア)、プロジェクトアブロード(海外ボランティア)、NPO法人Waffle

具体的な実習内容(例)

業界・団体	具体的実習内容例
人材派遣業	障害者雇用現場での就労体験 / 営業同行 / OG 社員との座談会 / HP 掲載用の専務インタビュー記事の作成 / 徳島イベント民泊事業 / 社内向け英語教育部署の PR イベント / 人材コンサルティング / グループワーク・最終成果発表会
ワークライフインターン	共働き家庭に訪問し、子育て体験及び保護者からヒアリングを実施。仕事と家庭の両立のリアルを学び、10年後のキャリア像を描く
IT業	アプリ開発ツールを使い、新しいアプリのアイデアを提案 / AIを利用したソリューション開発、調査
学校ボランティア	自治体及び教育委員会と連携し、学生を教員補佐として派遣 / 放課後学習支援
海外ボランティア	世界各国でチャイルドケア、環境保護、学習支援、日本語学校アシスタント、貧困地域の支援

PBL(課題解決型学修)の事例

■ PBL学修のスケジュール・イメージ

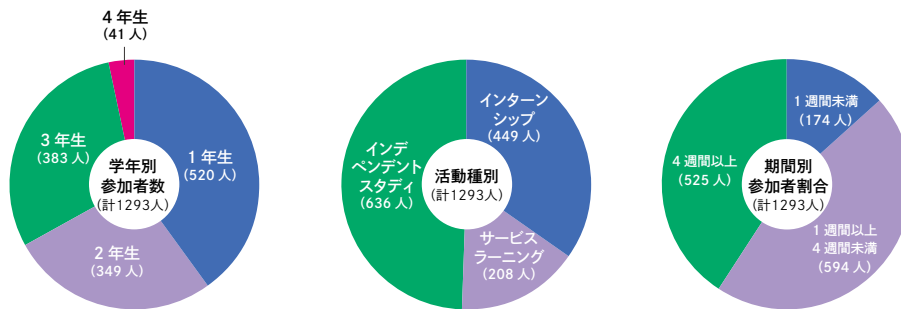


具体的な実習内容(例)

企業・団体名	PBLの課題例
日本航空	航空業界、JALという企業について学び、SDGsの取り組みと社会への発信について考える
朝日新聞	メディアの仕事(企画、取材、執筆、編集)体験「女性の活躍」「ことばとコミュニケーション」「AI時代の職業」といったテーマを設定し、取材、資料収集、グループ討議を行い、成果物として解説記事(社説)的な文章を作成、発表
日本IBM	コンサルタントチームとして、考える調査と検討をして、IBM社の学生認知度及び志望者数向上に対する改善提案
パナソニック	「社会人1年目の人がパナソニックの家電をどうしたら買いたくなるのか」の提案 獲得できるスキル・経験マーケティングの知識、プレゼンテーション、ロジカルコミュニケーション、チームワーク、リーダーシップなど
エンカル協会	エンカル消費を普及させるため、エンカルファッションを展開している企業とファッションショーを実現させるにはどうしたらよいか? ファッションショーの開催に向けて、エンカルブランドのリサーチ、モデル募集、会場探し、ショー運営についてグループで検討し、ショーを実現させる

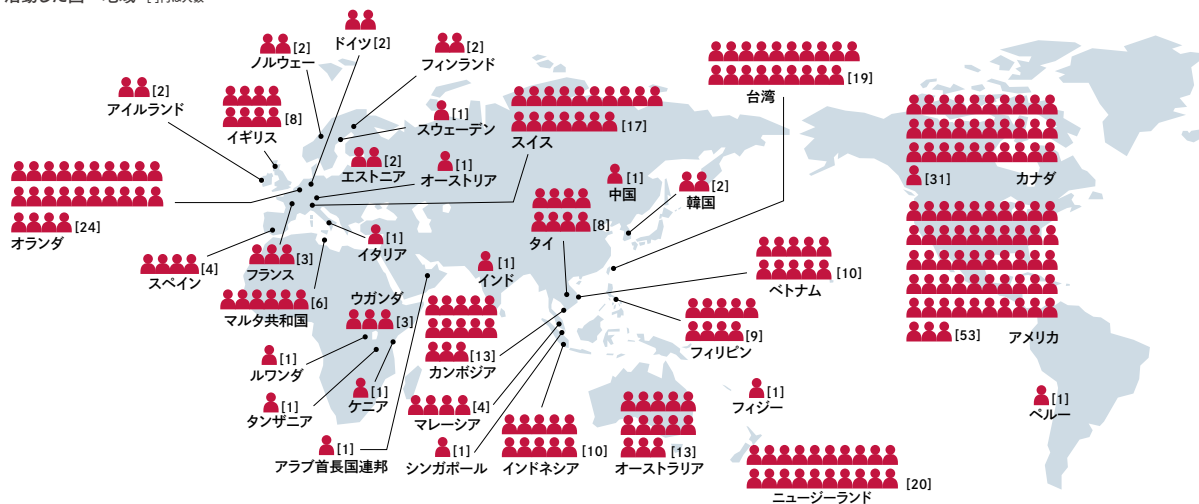
これまでの実績 2017年～2024年の実績

学生の参加状況



約280人が海外でサマープログラム、ボランティアなどに参加

■ 学生が活動した国・地域 []内は人数



注 2020～2021年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、海外派遣は中止となりましたが、2022年度から再開しました。



2022年度 国際関係学科 卒業生

授業と「現場」を行き来して、幅広い視野が養われた。

入学して早々、意欲的な学生が多いことに驚きます。学びたい分野や社会問題への関心を語ってくれる仲間たちとの出会いが大きな刺激に。でも、みんな決して肩肘張らず自然体で、そこがまた魅力的でした。

私もさっそく、大学のサポートを受けて学外で学ぶ「学外学修」への参加を決めます。外国にルーツをもつ子どもたちの学習支援ボランティアを皮切りに、国際協力をテーマとするインターンシップや研修を経験。イスラム教の戒律に則った食事「ハラールフード」への理解を推進するプロジェクトでは、料理教室を企画しました。協力者がなかなか集まらないなどトラブル続きでしたが、なんとか開催にこぎつけられてほっとしたものです。

授業の学びを「現場」で実践し、そこ

での気づきを大学に持ち帰って、さらに関連する授業で深く学ぶ。この相互作用が私を成長させてくれました。自らの問題意識に深く向き合える機会が身近にたくさんあるのが、津田塾の特徴です。国内外のさまざまな課題に対し、自分の考えを相対化して、幅広い視野でとらえることの大切さを実感しています。

将来は、貧困や差別から生じる人びとの“生きづらさ”に寄り添うような仕事につきたいという思いがあります。SDGs関連の業務に携わるのも目標のひとつ。就職先のコンサルティング会社で、まずは課題解決のスペシャリストとして実力を蓄えたいです。卒業しても、自分らしい道を切り拓くために、津田塾での日々と変わらず学び続けます。

津田塾生の就職とキャリア支援

特徴
1

高い就職決定率

常に女子大学生の就職をリードする津田塾。4年生の8～9割が就職を希望し、過去10年間の就職決定率は96%から99%の範囲で推移しています。授業や学外学修等の課外活動を通して培ってきた「自分で考え、行動する」ことが、就職活動にも大きく影響しており、将来的に会社の中心的な役割を果たす総合職・専門職(システムエンジニア、コンサルタント、教員等)への進路決定が例年9割以上を占めています。

特徴
2

就職決定先企業への高い満足度

例年、就職者の9割以上が第一志望、第二志望の企業に就職し、満足度の高い進路選択を行っています。学生個々人が自分の進路についてしっかり考え、その目標に向かって最後まで全力で就職活動に取り組んだ結果が、満足度の高さに表れています。

特徴
3

幅広い分野に開かれた津田塾生の進路

大学で得た知識やスキルを社会で役立てるために、各自がしっかりとキャリアプランを描き、幅広い分野にわたって進路を決めています。教員、公務員のほか、地元企業へのUターン就職、大学院進学など、進路は多岐に渡っています。

1 人ひとりと向き合う大学全体でのサポート

support

1

自分の軸を見つけるための 進路ガイダンス

進路決定までの流れや、業界研究の方法等、その時に必要な情報をタイムリーに提供しています。



support

2

OG・内定者との交流

低学年からロールモデルとなる卒業生に出会う機会を提供しています。

- OG懇談会
- 4年生による進路報告会
- キャリアデザインワークショップ
- OG訪問プラットフォーム



support

3

キャリア相談を重視

在学中に身につけた強みを引き出し、1人ひとりの希望の進路を実現するための支援をしています。



採用企業の声

社会に出てからも
学び続ける力がある
学生が多いと感じ
ています。



特許事務所

言われたことだけをやる
のではなく、自分のなか
で目標を定めてやりとげ
ることができる人材です。



法律事務所

異文化やダイバーシティなど、
グローバルな視点にも関心の
ある学生が多い点は津田塾
の特徴だと思います。



航空

アクセスマップ



小平キャンパス

学芸学部：英語英文学科／国際関係学科／
多文化・国際協力学科
数学科／情報科学科
大学院：文学研究科／国際関係学研究所／
理学研究科

〒187-8577 東京都小平市津田町 2-1-1

- 西武国分寺線
鷹の台駅下車、徒歩約 8 分
- JR 武蔵野線
新小平駅下車、徒歩約 18 分

千駄ヶ谷キャンパス

総合政策学部：総合政策学科
大学院：文学研究科
(英語教育実践研究)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24

- JR 総武線・中央線
千駄ヶ谷駅下車、徒歩約 1 分
- 都営地下鉄大江戸線
国立競技場駅下車、A4出口より徒歩約 1 分
- 東京メトロ副都心線
北参道駅下車、徒歩約 10 分



小平キャンパス

7号館1階 学外学修・キャリアセンター

- 1 本館
(ハーツホン・ホール)
- 2 新館
- 3 南校舎
- 4 特別教室/
センターオフィス
- 5 1号館
- 6 2号館
- 7 3号館
- 8 5号館
- 9 6号館
- 10 7号館

- 11 大学ホール
- 12 記念館
- 13 津田梅子墓所
- 14 グラウンド
- 15 8号館
- 16 白梅寮
- 17 東寮(閉寮中)
- 18 西寮(閉寮中)
- 19 星野あい記念図書館
- 20 守衛所
- 21 津田梅子記念交流館

インターン・ボランティア受け入れご担当者様へ

■ 受入・連携に関するお問合せ

学外学修・キャリアセンターWebサイト内「法人の方へ」
ページに掲載されている問合せフォームまたはメールで
お問合せ下さい。

↓
スタッフよりコンタクト／必要書類を送付します

↓
実施案件について貴社、貴団体と協議

↓
内容確定後に学生募集開始
(募集時期についてはP4のプロセス例をご参照ください)

■ 問合せ先

電話 042-342-5129

メール offcampus@tsuda.ac.jp

採用ご担当者様へ

■ 新卒向け求人・採用に関するお問合せ

求人票は小平キャンパス 学外学修・キャリアセンター
宛にて、以下の方法で受付しています。

- 郵送 ● メール ● キャリタスUC

※求人票と併せて本学卒業生の在職者名簿を1部ご提供
くださいますようお願いいたします。

※ご来校の場合は事前に当センターまでご連絡をお願い
します。

■ 問合せ先

電話 042-342-5132

メール gakse00@tsuda.ac.jp

